

ごみ処理基本計画 課題一覧表（案）

項目		現状	施策・取組	評価、議論
課題 1	ごみの発生量を抑制する	平成 29 年度のごみ排出量原単位は 868g/人/日 国平均 920g/人/日、類似団体平均 920g/人/日を下回る 県平均 830g/人/日、県目標 820g/人/日を上回る	平成 28 年 10 月 1 日より事業系ごみの受入値上げ	資料 1 目標設定用資料 平成 24 年～29 年の 5 年で 7g/人/日減少 計画目標である 844g/人/日（平成 31 年度）は達成困難
課題 2	リサイクルを推進する	平成 29 年度の本市のリサイクル率 22.2% 国平均、県平均を上回る。 *本市のリサイクル率は家庭系ごみあたりの総資源化量	民間委託によるエコステーション開設（3 箇所設置済み） 布類の分別検討	資料 2 資源化の実績資料 資源化の内訳：紙類や肥料が減少傾向 計画目標である 27%（平成 31 年度）は達成困難
課題 3	事業系ごみ対策を強化する	平成 29 年度の事業系ごみの割合 33.7% 県の平均値 27.1%、国の平均値 30.3%を上回る リサイクルや減量化への対策が必要	事業者へのヒアリングを実施し、現状把握と対策検討を行う 予定	
課題 4	収集・運搬を効率的・効果的に行う	家庭系収集ごみ排出量の約 70%が燃えるごみであり、紙類、 プラスチック等の資源が多く混入	排出段階における資源ごみの分別徹底を推進	資料 3 収集運搬量の実績資料
課題 5	安全で適正な処理を行う	焼却処理については、安全かつ適正な処理の継続のため、ご み排出量、ごみ質の管理を徹底する必要がある。燃えないご み、資源ごみ処理については、経済性・効率性を考慮し、民 間事業者へ処理委託している。	焼却施設は稼働後 24 年が経過し、老朽化により処理能力が 低下していることから、長寿命化に向けて基幹的設備改良を 行う予定	基幹的設備改良の費用は約 45 億円
課題 6	適正処分を継続する	埋め立てごみ及び残渣の大半を広域最終処分場で埋立処分	関係市町村、団体と連携し最終処分場を確保	
課題 7	ごみの持ち去り及び違法 回収対策を強化する	ごみの持ち去りや違法な不用品回収業者の存在	ごみの持ち去りに対する罰則規定（平成 26 年 4 月 1 日から） 監視や取締り強化が必要	
課題 8	プラスチックごみ問題の 解決を図る	プラスチック資源循環戦略が政府から公表 市の責務として一般廃棄物が琵琶湖や海洋の汚染に繋がら ないように、不法投棄の抑制やプラスチックごみの有効利用 を推進する施策を一層促進	プラスチックリサイクルの推進 レジ袋有料化推進 住民・観光客への啓発活動	